



すぐに使える環境プログラム（生命概論）

～ 教室編・校庭編・フィールド編 ～

■ 主 旨／

幼少期における自然体験は、その後の自己形成に大きな影響を与えられ、学校や地域で環境教育の取り組みが進んでいます。

一方で、高知県の自然や生物多様性を守っていくためには、その保全について、主体的に行動できる人材が必要ですが、子供たちや若い世代の自然離れが進んでいる現代においては、五感で感じる体験の機会を多く提供し、自然環境について考える力を養っていく必要があります。

そこで今回は、関係する教科や総合的な学習の時間において、すぐに“使える”環境学習プログラムをご用意しました。しかも、学習場所を校内（教室、校庭）と校外（学校周辺のフィールド）で設定していますので、みなさんのご希望に沿ったプログラムを学ぶことができます。

子どもたちの教育に第一線で関わるみなさま、この機会に、環境教育への取り組みを一緒に学んでみませんか？



■ 日 時／

平成 26 年 11 月 29 日（土） 13:00～15:30 （開 場／12：30）

■ 場 所／

こうち男女共同参画センターソーレ （3階 研修室1・2） 高知市旭町3丁目115

■ 対 象／

環境教育に関わる教育関係者や環境保全団体のみなさま ほか

■ 定 員／30 名

※裏面の申込票により、11月21日（金）までにお申し込みください。

定員に満たない場合は、当日参加も受けつけます。

■ 内 容／

13:00～13:05 イン트로ダクション

13:05～13:50 話題提供

NPO法人エコ・コミュニケーションセンター代表 森 良氏

高知県シェアリングネイチャー協会理事長 兼松 憲一氏

13:50～14:50 ワークショップ

14:50～15:20 共有と振り返りの時間

15:20～15:30 まとめ

ワークショップの各ポイント

【教室編】 担当：森 良氏

「5アクション」みなさんの生活と生物多様性をつなぐものは？ワークシートを使います。

✓味わいます（食べよう） ✓ふれます（自然や生きものと出会おう） ✓伝えます（文章や写真で表現しよう）

✓参加します（自然や文化を守ろう・つながろう） ✓買います（環境にやさしい商品や行動を選ぼう）

この5アクションを活用し、教室でできるプログラムを参加者と一緒に考え、作ります。

【校庭編】 担当：兼松 憲一氏

校庭にある宝物さがし。身近な自然を感じよう、楽しもう、考えよう。

✓会場近くの児童公園へ出かけて参加者と一緒にプログラムを5つのステップで体験します。

（①感覚をとぎすます→②生きもののくらし→③発見のよろこび→④いのちのつながり→⑤自然にこころをひらいて）

✓得られた感性（6つの感覚）をワークショップ形式で、プログラムを参加者と一緒に考え、作ります。

【校外（フィールド）編】 担当：谷川 徹氏（四国生物多様性ネットワーク）

学校周辺のフィールドで自然・環境プログラムを実施するコツをお伝えします。

✓野外活動は実に多種多様な自然があります。その中で限られた時間で活動するプログラムを組み立てることはなかなか思うようにいきません。

✓今回は参加者の皆さんと課題を共有し、主に運営に関してのコツと学習効果をどう上げるかという視点で、頭と体を使い、実際に体験しながらプログラムを参加者と一緒に考え、作ります。

■講師紹介

森 良（もり りょう）氏 学びと参加をつなぐコーディネーター

- ・NPO法人エコ・コミュニケーションセンター代表。
- ・「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議（ESD-J）理事
- ・子どもたちの自然教室のボランティアリーダーを10年、環境教育・環境まちづくり・市民参加を応援するNPOを21年実践してきた。

【これまでの活動】

東京都環境学習センターの教材開発(1993)、板橋区エコポリスセンターのプログラム開発(1995)、茨城県『いばらき環境学習プラン』(1998)の制作、埼玉県志木市の『市民がつくる志木市の環境プラン』のサポート、鎌倉市や春日井市などの『環境基本計画』市民参加コーディネイト、NEC社員対象「ファシリテーター養成講座」(2003)、板橋区基本構想区民ワークショップのファシリテーター(2004)、JICA 草の根技術協力事業「内モンゴル東部地域における環境教育普及事業およびワーキング・エコツアーの基盤整備事業」プロジェクトマネージャー(2005～2008)、東京都新宿区教員向け環境学習教材の執筆・編集(2007)、としまNPO推進協議会企画部長、学習院大学非常勤講師(教職課程・総合演習)・大東文化大学非常勤講師

【主な書籍】

共著『地球となかよし はじめの一歩』(フレーベル館、1998) 編集『食べ物から考える環境教育ガイドブック FOOD』(ECOM、1998)、著『コミュニティ・エンパワーメント 一学びから参加へ』(ECOM、2001)、共著『「総合的な学習の時間」はコワくない!』(ECOM、2001)、著『しぜんあそび・なかまあそび』(フレーベル館、2004)、著『力を引き出すもりもりファシリテーション』(まつやま書房、2007)、著『地球をつなぐもりもりコーディネーション』(まつやま書房、2014) 共著『ESDの授業・プログラム作り』(ECOM、2014)

兼松 憲一（かねまつ けんいち）氏

この星の元に生まれたのだから、この星と共に生きる。

思い悩む人がいれば、語りあいたい。

ともにわかちあうネイチャーな生き方をもとめて、私流「こころの置き場」を伝えています。

ライフワークに、農作業を修行中。趣味の「語り」は、呼ばればどこでも飛んで行って語ります。

【好きな言葉】

「自分のためだけでなく 自然とともに生きよう」J・コーネル

【現在の活動】

高知県シェアリングネイチャー協会理事長、甬喜ヶ峰森林公園ネイチャーゲームの会代表、特定非営利活動法人「環境の杜こうち」副理事長、自然体験活動推進協議会 CONE コーディネーター、公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会認定、ネイチャーゲームインストラクター、ネイチャーゲームコーディネーター、高知県レクリエーション協会評議員、高知自然学校連絡会会長

■主催／

高知県林業振興・環境部 環境共生課 (担当：高橋・川崎)

〒780-0850 高知市丸ノ内 1-7-52 TEL/088-821-4868

FAX/088-821-4530 Mail/030701@ken.pref.kochi.lg.jp



お申し込み用QRコード

■お問い合わせ・お申込み／

運営受託：四国生物多様性ネットワーク (担当 谷川)

Mail/info@ikimonokochi.com FAX/0889-67-0383

■その他／

ワークショップの詳細は、「生物多様性×こうち」のHPやFBにて随時お知らせします。

HP/http://ikimonokochi.com FB/https://www.facebook.com/ikimonokochi

申 込 票 (11/21日(金)までにメール、FAX、申し込みフォームのいずれかにてお申し込みください。
定員に満たない場合は、当日参加も受けつけます。)

お名前	
ご連絡先	(メールアドレス/電話番号等)
年齢	・～20代 ・30代 ・40代 ・50代 ・60代 ・70代以上
ご職業	
お住まいの地域 (市町村)	
当日に期待する 内容	希望するプログラム(教室、校庭、フィールド)やその他、期待する内容があれば、お知らせください。

いただいた個人情報は高知県(運営受託者含む)にて厳重に管理し、ワークショップの受付・開催目的以外では利用しません。